給与支払報告 特別徴収にかかる給与所得者異動届出書(普通徴収記載例)

◎異動があった場合は、すみやかに提出してください。

※年度	1．現年度　2．新年度・3．両年度

令和　○　年　××　月　△△　日

吉見町長あて

給与支払者(特別徴収義務者)		
所在地	〒012−3456 ○○県××市△△1−2−3	
フリガナ	カブシキガイシャ　マルバツショウジ	
氏名又は名称	株式会社　○×商事	
個人番号又は法人番号	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	←個人番号の記載に当たっては、左端を空欄とし右詰めで記載

特別徴収義務者指定番号	12-34567	
宛名番号	1234	
担当連絡者先	所属	人事課人事労務係
	氏名	特徴 花子
	電話	000-000-0000 内線（ 123 ）

給与所得者		(ア)特別徴収税額(年税額)	(イ)徴収済額	(ウ)未徴収税額(ア)−(イ)	異動年月日	異動の事由	異動後の未徴収税額の徴収方法
フリガナ	スズキ イチロウ						
氏名	鈴木 一郎						
生年月日	昭和○○ 年 ×× 月 △△ 日						
個人番号	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2						
受給者番号	1 2 3 4 5 6						
1月1日現在の住所	○○県××市△△3−2−1	140,000 円	6 月から 8 月まで 35,600 円	9 月から 5 月まで 104,400 円	令和○ 年 8 月 31 日	1（右から番号を記入） 1．退職 2．転勤 3．休職・長期欠勤 4．死亡 5．支払少額・不定期散他 6．合併・解職 7．その他（事由・理由）	3（右から番号を記入） 1．特別徴収継続 2．一括徴収 3．普通徴収（本人納付）
異動後の住所							

8月末で退職した給与所得者の徴収方法を、9月分から普通徴収に変更する場合。
(ア) 特別徴収税額(年税額)　140，000円（6月から翌年5月分）
(イ) 徴収済額　35，600円（6月から8月分）
(ウ) 未徴収税額　104，400円（9月から翌年5月分）
↑ 普通徴収税額

1．特別徴収継続の場合

新しい勤務先(特別徴収義務者)		
特別徴収義務者指定番号		
所在地	〒	
フリガナ		
氏名又は名称		
内線（　）		

新しい勤務先へは、月割額＿＿＿＿＿＿円を［　］月分（翌月10日納入期限分）から徴収し、納入するよう連絡済みです。

受給者番号		
納入書の要否（新規の場合のみ記載）	［　］（右から番号を記入）	1．必要　2．不要

2．一括徴収の場合

理由 ［　］（右から番号を記入）
1．異動が令和○年12月31日までで、一括徴収の申出があったため
2．異動が令和○年1月1日以降で、特別徴収の継続の申出がないため

徴収予定月日	徴収予定額(上記(ウ)と同額)
月　日	円

左記の一括徴収した税額は、［　］月分（翌月10日納入期限分）で納入します。

3．普通徴収の場合

理由 ［1］（右から番号を記入）
1．異動が令和○年12月31日までで、一括徴収の申出がないため
2．令和○年5月31日までに支払われるべき給与又は退職手当等の額が未徴収税額(ウ)以下であるため
3．死亡による退職であるため

※市町村記入欄

ご注意

1　「給与支払者（特別徴収義務者）」欄中の「宛名番号」欄には、この届出書に記載した給与所得者について、その特別徴収税額の通知書に記載された宛名番号を記載してください。

2　※印の欄は、記載しないでください。